

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	株式会社ロッテ	事業所名	浦和工場				
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置			H27	H28	H29
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	ISOの取得状況を確認している 複数の業者において取得済み			○	○	○
(01)	貨物輸送事業者の環境配慮の確認						
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	一斉アンケートを実施し提出状況を確認、奨励する			○	○	○
(02)	貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出 確認						
02	モーダルシフトの推進	船舶等の利用を促進			○	○	○
()							
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握	定期報告書の作成及び提出			○	○	○
()							
04	積載率の向上	荷姿・パレット積載数の最適化を検討している			○	○	○
(01)	商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上						
04	積載率の向上	梱包形態の変更及び梱包サイズの見直しを実施			○	○	○
(02)	梱包資材の軽量化・小型化の実施						

自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	製品重量・サイズに適合する低床大型車両の導入を促進	○	○	○
04 積載率の向上 (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	同業他メーカーとの共同輸送の実施	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	全業者に対し状況を確認	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	全社で実施 状況の確認実施	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	出荷2日前のオーダーを実施	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	最大効率積載を考慮した車両単位の輸送を実施	○	○	○
07 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	事業所外に物流拠点を設けルートの違いをしている	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	通過拠点が複数にならないようルートを考慮し実施している	○	○	○
08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	SCMを取り入れシステム化し、情報の共有化を図る	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	株式会社ロッテ	事業所名	狭山工場			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認		ISOの取得状況を確認している 複数の業者において取得済み		○	○	○
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出 確認		一斉アンケートを実施し提出状況を確認、奨励する		○	○	○
02 モーダルシフトの推進 ()		船舶等の利用を促進		○	○	○
03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ()		定期報告書の作成及び提出		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	荷姿・パレット積載数の最適化を検討している	○	○	○
04 積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	梱包形態の変更及び梱包サイズの見直しを実施	○	○	○
04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	製品重量・サイズに適合する低床大型車両の導入を促進	○	○	○
04 積載率の向上 (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	同業他メーカーとの共同輸配送の実施	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	全業者に対し状況を確認	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	全社で実施 状況の確認実施	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	出荷2日前のオーダーを実施	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

06 計画的な貨物輸送の推進 ----- (02) 多頻度少量輸送の見直し	最大効率積載を考慮した車両単位の輸送を実施	○	○	○
07 物流の効率化 ----- (02) 物流拠点の活用	事業所外に物流拠点を設けルートの違いをしている	○	○	○
07 物流の効率化 ----- (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	通過拠点が複数にならないようルートを考慮し実施している	○	○	○
08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ----- ()	SCMを取り入れシステム化し、情報の共有化を図る	○	○	○